

山口県周防灘におけるコシヨウダイの漁獲状況

誌名	山口県内海水産試験場報告
ISSN	03889300
著者名	小林,知吉
発行元	山口県内海水産試験場
巻/号	13号
掲載ページ	p. 59-62
発行年月	1985年3月

農林水産省 農林水産技術会議事務局筑波産学連携支援センター
Tsukuba Business-Academia Cooperation Support Center, Agriculture, Forestry and Fisheries Research Council
Secretariat



山口県周防灘におけるコショウダイの漁獲状況

小林 知 吉

コショウダイ *Plectorhynchus cinctus* (Temminck et Schlegel) は、松原 (1964) によれば、イサキ科コショウダイ属 *Plectorhynchus* に属し、本邦中部以南からフィリピン、インド洋まで分布する。

コショウダイの生態に関する報告は非常に少なく、蒲原 (1934) が産卵期について、小林および岩本 (1984) が初期生活について述べているにすぎず、また、本種の漁業については、日本水産捕採誌 (農商務省水産局編, 1983. 復刻版) に記述されているにすぎない。

筆者は1981~1983年に、山口県周防灘において、コショウダイの漁業実態調査を行い、若干の知見を得たので、ここに報告する。

本調査を実施するにあたり、漁獲魚測定および漁獲情報の収集に多大の御支援を頂いた宇部岬漁業協同組合の組合員各位、文献収集など御教示を頂いた長崎大学水産学部教授道津喜衛博士に深謝する。

材 料 と 方 法

標本船日誌調査：宇部市宇部岬漁業協同組合に所属する流し刺網および吾智網操業船、それぞれ1隻に漁獲日誌の記帳を依頼した。調査は流し刺網船で1982~1983年に、吾智網船については1981~1983年に行い、記帳期間は両漁船とも、盛漁期を含んだ6月上旬~7月中旬とした。

魚体測定調査：1983年6月中旬~7月中旬に、同市宇部岬漁港に水揚げされた漁獲魚の全長を、漁業種類別に測定した。

結 果 お よ び 考 察

標本船日誌に基づき、流し刺網漁および吾智網漁の単位努力当たりの漁獲量 (CPUE) について、漁区別に調べた (図1および図2)。

これによると、両漁業種類とも、操業海域は周防灘の北緯 $33^{\circ}45'$ 以北、東経 $131^{\circ}30'$ 以西であるが、吾智網船は流し刺網船より沿岸で操業していた。CPUE (尾数/隻・日) は、両漁業種類とも1982年に増加し、1983年に減少しているが、このことは流し刺網で顕著であった。また、CPUEの変動は、流し刺網漁で大きく、吾智網漁では小さい傾向がみられた。

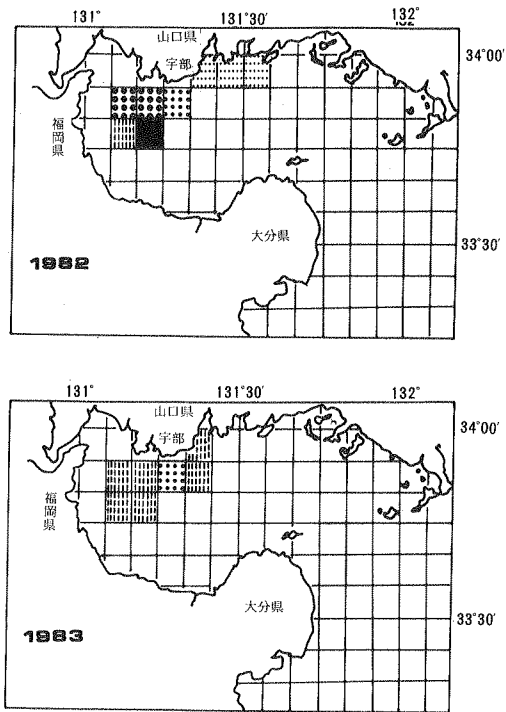


図1. コショウダイの漁区別CPUE (流し刺網)

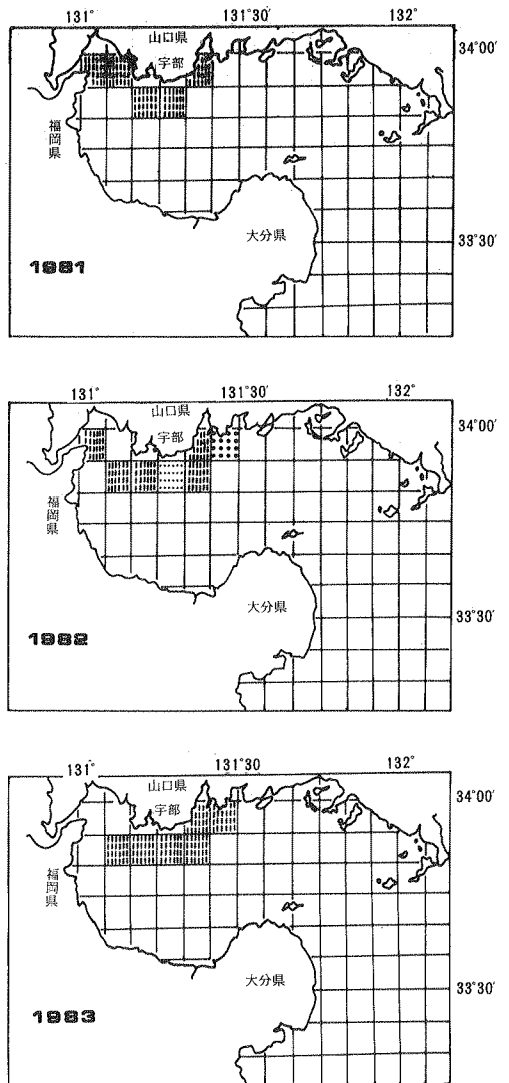
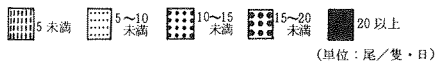


図2. コショウダイの漁区別CPUE (吾智網)



漁業種類別に、漁獲魚の全長組成をみると（図3）、流し刺網では、全長40cmを中心として、小型魚を漁獲する傾向にあったのに対し、吾智網では全長50cm台を中心に、大型魚が漁獲される傾向が認められ、流し刺網で漁獲されたような全長30cm以下の個体は漁獲されなかった。

各漁業種類の全長組成を旬別にみると、流し刺網では、6月中旬から7月上旬へと、漁期末へ向かうにつれ、全長組成のモードは40cm台から20cm台へと、漁獲魚は小型になっていった（図4）。しかし、吾智網では、そのような傾向は認められず、全長30～80cmの範囲の魚をはば一様に漁獲していた（図5）。この相違については、吾智網漁獲魚の測定尾数が少なかったこともあろうが、それよりも両漁業種類の漁具特性の相違が主要因であろう。

当調査海域におけるコショウダイの漁期は、5月下旬～8月上旬まで続き、盛期は6月である。さらに、本種の産卵盛期が6月中旬～7月上旬であることから、コショウダイは産卵のために当海域へ回遊してくるものと推察される（小林および岩本，1984）。このことと、流し刺網の全長組成を合せ考えると、当海域においては、全長40cm前後の魚が産卵主群と推察される。

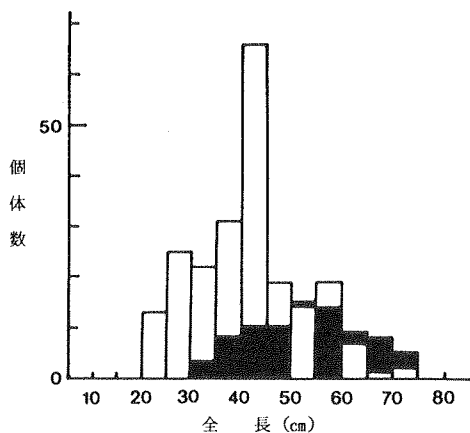


図3. 漁獲コショウダイの全長組成(測定地：宇部岬)

□ 流し刺網, 測定尾数 219 尾 ■ 吾智網, 測定尾数 83 尾

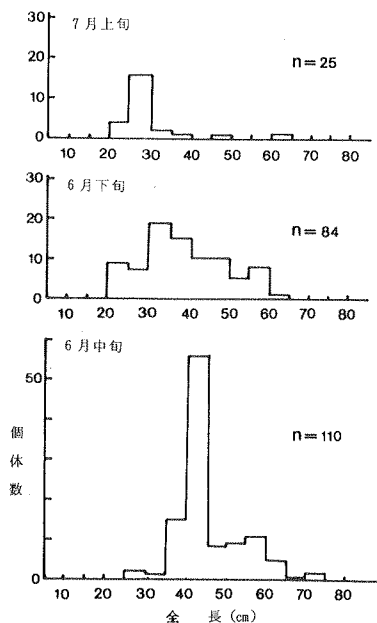


図4. 流し刺網で漁獲されたコショウダイの旬別全長組成

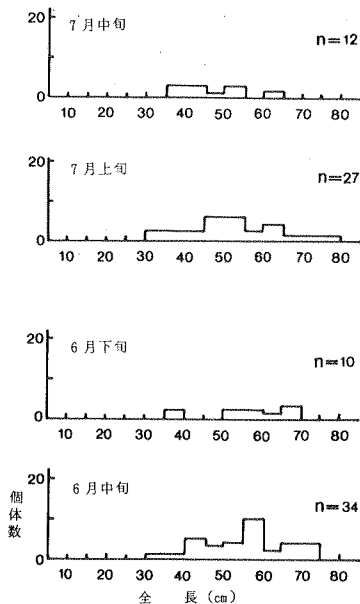


図5. 吾智網で漁獲されたコショウダイの旬別全長組成

文 献

- 1) 浦原稔治：1934．浦戸湾に於ける魚類の移動状態．植物及び動物，2(2)．359～370．
- 2) 小林知吉・岩本哲二：1984．コショウダイの初期生活史．魚類学雑誌，30(4)．412～418．
- 3) 松原喜代松：1963．魚類の形態と検索．I．石崎書店，東京，xi + 789 PP．
- 4) 農商務省水産局編：1983．日本水産捕採誌．上・下巻．岩崎美術社，東京，復刻版．